

◇ 教員免許更新講習シラバス(選択必修領域分)

講座内容についての問い合わせ先…koushin@nara-edu.ac.jp (奈良教育大学)

<M011>

講習名	主な受講対象者	時間	講習形態
特別支援教育 ※M012と同内容です	特別支援学校教諭	6H	インターネット講習 (オンデマンド型)
開設期間	講師名(所属・職名等)		
令和3年8月11日～10月11日	越野 和之 (奈良教育大学・教授) 木下 理恵 (奈良教育大学・特任教授)		
定員			
40人			

【講習の概要】

項目	学校を巡る近年の状況の変化・法令改正および国の審議会の状況等
内容	この講座では、特別支援学校に勤務する教員を主たる対象として、障害のある子ども・青年の教育と発達をめぐる近年の諸問題について述べ、あわせてこの間の政策動向を検討する。

【小テーマ①】 特別支援教育の発足からインクルーシブ教育システムの構築へ

1. 5H (担当講師: 越野 和之)

講習形態	講義形式
講習内容	この講義では、2007年に成立した特別支援教育法制の特徴を概観した上で、その前年に国連で採択された障害者権利条約のインパクトについて述べ、2014年の同条約批准までの国内における制度改定の経過と残された論点について講ずる。
到達目標・確認指標	「特殊教育から特別支援教育へ」の改革の具体的課題と論点、2007年度からの新制度の概要等、障害者権利条約批准に向けた制度改定の特徴などを理解する。
キーワード	特殊教育、特別支援教育、特別支援学校、特別支援学級、通級による指導、障害者権利条約、インクルーシブ教育システム

【小テーマ②】 障害者権利条約におけるインクルーシブ教育の理念と特別支援教育の論点

1. 5H (担当講師: 越野 和之)

講習形態	講義形式
講習内容	この講義では、障害者権利条約の教育条項(第24条)の基本理念について述べる。とりわけ、インクルーシブ教育という理念の意味と、教育に於ける合理的配慮に焦点を当てて講ずる。2020年度末の特別支援教育有識者会議報告にも触れる。
到達目標・確認指標	障害者権利条約の「インクルーシブ教育」の理念およびわが国におけるその受容過程についての基礎的認識を得るとともに、就学決定手続きをめぐる新制度ならびに学校教育における「合理的配慮」について理解する。
キーワード	障害者権利条約、インクルーシブ教育、就学決定手続き、合理的配慮、有識者会議報告

【小テーマ③】 知的障害教育特別支援学校の教育課程及び教育内容と課題

1. 5H (担当講師: 木下 理恵)

講習形態	講義形式
講習内容	在籍する児童生徒の障害が多様化する知的障害特別支援学校の教育課程の編成及び授業内容について具体例を通して概説する。また、知的障害教育で大切にしたい視点と今日的課題についても言及する。
到達目標・確認指標	知的障害特別支援学校の教育課程と授業内容を把握するとともに、知的障害教育で大切にしたい視点と課題についての理解を深める。
キーワード	知的障害特別支援学校、教育課程、授業内容

【小テーマ④】 知的障害教育特別支援学校中学部・高等部の教育

1. 5H (担当講師: 木下 理恵)

講習形態	講義形式
講習内容	知的障害教育特別支援学校中学部及び高等部で取り組まれている進路等に関わる学習について具体例を通して概説し、青年期の教育課題について言及する。
到達目標・確認指標	知的障害教育特別支援学校中学部及び高等部で取り組まれている進路学習等を把握する。特別支援学校におけるキャリア教育及び青年期の教育課題について理解を深める。
キーワード	知的障害特別支援学校、キャリア教育、中学部、高等部、進路学習

試験方法	各小テーマの最後に10分程度の筆記試験を行う。
成績評価の方法・基準等	演習課題及び試験の成績で判断する。(演習課題10点＋試験15点×4テーマ＝100点満点) 評価基準は、総合点で60点以上を合格とする。